

グローバル・カフェ

「Meet and greet with Luke-sensei and Wu-sensei」を開催しました

10月3日と4日の昼休み、新たにグローバル・カフェ教員として着任した Draper 先生と、インターナショナルオフィス講師として着任した Wu 先生よりご自身の自己紹介をしていただきました。両日合わせて約 30 名の学生と教職員が参加しました。

イギリスのポーツマス出身の Draper 先生は、ポーツマスの名前の由来について説明しました。ポーツマスは「Port（港）」という言葉が含まれていることからわかるように、古くから港町として発展してきました。イギリス海軍の拠点の一つでもあり、歴史的に重要な役割を果たしてきた都市とのことでした。また、イギリスの国旗（ユニオンジャック）の由来についても説明しました。ユニオンジャックは、イギリスを構成する国々（イングランド、スコットランド、アイルランド）の旗が組み合わさってできたもので、イギリスの成り立ちを象徴するデザインになると紹介されました。



Wu 先生はご自身の専門分野について、また研究者としての一日の過ごし方について紹介しました。Wu 先生の専門は「国境を越えた農業投資」「持続可能な農村開発」「ベトナム地域研究」であり、ベトナムの山岳地域における農業のグローバル化が農村社会に与える影響についての研究を行っているそうです。現地に出かけ、実際に農業を営んでいる家庭にホームステイをして、聞き取り調査を行う様子を写真を交えて紹介しました。現地での生活は、電気や水の供給が不安定であるため容易ではありませんが、何度も足を運ぶうちに、現地での生活にも慣れ、今ではベトナムだけではなく、ミャンマー、インドネシア、マレーシアの山岳地帯でも調査を進めているそうです。東南アジアの伝統や民族衣装に興味があるとのこと、チベットの山岳地帯に住む民族から購入したという織物のバッ



グや小物入れも見せてくれました。東南アジアのお勧めの料理が知りたい方、Wu 先生の母語である台湾語と中国語の会話練習をしたい方など、気軽に声を掛けて欲しいと笑顔で話されました。